

●同志社大学サッカー部ボランティアとして 23 人(男子部員 10 名、女子部員 13 名)が来園

木津川希少種植物の保全維持の集草作業に 12 月 6 日に 16 袋、7 日には 14 袋を 2 日間で巨大袋合計 30 袋に集めさせていただきました。両日とも興戸駅などに集合して予定の現場では 9 時 30 分に作業を開始、お昼には天端で冷たい冬風をものともせず弁当を食べていただき、デザートにミカンやバナナをほおぼって、ほんの少しの休憩で次の現場に移動を行いました。日頃鍛えている体力に自信があつてか斜面をものともせず手際よくかき集めていただきました。里山の会のスタッフなら 2 日間にかかるだろうと見込まれるのですが見ている間に袋に詰め込んで、綺麗に清掃が出来上がりました。スタッフの皆さんは改めて若さの力に驚きました。6 日には木津川市の加茂地域のオオバクサフジの生育地と山城地域のマキエハギの生育地をやり挙げていただきました。7 日には木津川市の生育地で最も大切に保存しているレンリソウ地域と木津川で 3 株しか生育していないフナバラソウの生育地を午前中に片づけて、午後には八幡市の現場に移動しての



作業になりました。移動には除草作業に尽力いただいた太田さんを始め奥さんまでが自家用車を出して移動にご協力の加勢をいただきました。2 日間で集めた袋は大量の刈草の大半を受け取ると連絡をいただいた農家さんの田圃や里山農園への運び込みも完了しました。



●越冬昆虫観察会(12 月 14 日)の開催の諸準備を金田さんが始めてくださっています。

打田薪炭組合のお手伝いをさせてもらっている時、組合員さんからこの地域にオオムラサキが飛んでいるらしいとのお話をお聞きして、落葉の中で越冬しているから幼虫を見つけられるので作業を行ってはその桜谷先生の助言で開始いたしました。どこに食草のエノキが生育しているのかわかりませんので先生に見つけてもらって炭窯付近のエノキ 10 本を訪ね 1 時間も 2 時間もめくり続けました。数年後に里山農園の開拓が進みエノキ林 20 本ほどの群生が発見されたので山野を駆

このための準備を昆虫部会の金田さんがいち早く準備を始めて頂いています。エノキ林の足元の草刈りとエノキの幹に番号書きなど、そして教育棟の床板の掃除等の清掃を行っていただいています。気がついて手が出ない地道な作業で里山農園の昆虫たちに熱い熱い情熱を注いでもらっています。ありがとうございます。

当日のプログラムは決定したところから週刊ニュースで発表してゆきますのでよろしくお願いいたします。

2

●12月の取組の予定 何かと忙しい年末ですが里山の会の活動にご参加ください。いずれも参加費無料

12月13日 木津川希少種の刈草の集草作業 9時近鉄興戸駅集合 現場へ移動 学生運搬のお手伝い募集

12月14日 冬の昆虫観察 里山農園の教育棟集合 参加費無料 10時集合 少雨決行

12月14日 木津川希少種の刈草の集草作業 9時近鉄興戸駅集合 現場へ移動 学生運搬のお手伝い募集

12月20日 尾根筋ハイキングコース年末清掃実施 9時30分普賢寺小学校前集合現場へ移動

12月21日 第6回イタセンバラの復元を目指すシンポジウム 13時開場 京田辺市社会福祉センター

国交省淀川河川事務所＝淀川の現状と課題報告 里山の会＝岐阜県-木曽川の取組報告

里山の会＝中学生の調査観察報告 そのほか木曽川での取り組みの報告も準備中です。

12月24日 しめ縄づくり 9時30分里山農園教育棟集合

しめ縄づくり

12月24日

しめ縄は神聖な所を表すものですしめ飾りは降りてこられた神様が迷わないように飾りをつけているのではないのでしょうか？いずれにしても餅縄で作り上げます。米の藁は茎が短いので長いモチ米の藁を使います。近ごろは農家でモチを栽培されているところは比較的に少なくなっていますし、コンパインでの一基の収穫になっていますので早くから予約を仕手材料を確保することが重要です。参加者の子供たちも大人の方も縄をなうといった経験が少ないので寄りを掛けるという作業が難しいようでここで苦労をされます出来ただけ一度の経験で成功させることは難しいので本番前に里山農園で縄を作る事前の練習をするというのではないのでしょうか。こうした地道な経験が技術の伝承になるのではないのでしょうか？こんなことしながら本番のしめ縄づくりを実行します。昨年は体の不自由な皆さんにお越し願って取り組みました。力を合わせて長いモノ、太いモノ等工夫して新しな飾り名和が出来れば面白いと思います。沢山の創意と工夫が発揮されることを期待しています。時間にせかされて急いで作るのではなくてシンプルでオーソドックスなしめ縄と創意工夫したしめ縄を時間をかけて作りあげましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

手作りしめ縄作りませんか

12月25日(日) 10時～12時 里山農園

特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務局：京都府京田辺市田辺深田15 fddhw25@yahoo.co.jp 電話 0774-64-4183

結成30周年記念事業「七草摘みと七草粥」お知らせ

2026年1月6日 里山農園付近

新しい年の始まりに、そして里山の会30周年の幕開けとして、恒例の「七草摘みと七草粥」を今年も開催いたします。この伝統行事は、無一文から始まった私たちの活動の原点であり、30年間続けてきた大切な取り組みです。七草摘みでは、冬の里山を歩きながら春の七草を探します。七草粥は、摘んだ七草を使って、無病息災を願いながらみんなで味わいます。

遊びを分かち合えるひと時に自然の恵みと仲間とのつながりを感じながら、楽しく意義ある新年のスタートを切りましょう。ご家族そろってご参加ください！

参加無料・申込不要

温かい服装でお越しください。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

30周年を迎える里山の会の歩み
竹えんぴつや松かさツリーなどの自然工作
里山農園での栽培活動
ヤマトンショウウオやイタセンバラの保護活動
植物調査の継続と保存庫の構想
会誌『里山の自然』や週刊ニュースは1150号に到達
中高生の参加も増え、次世代へと活動が広がっています
生物多様性センターの活動も着実に前進中

主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会
事務所 京都府京田辺市田辺深田15 fddhw25@yahoo.co.jp
電話 0774-64-4183

●2026年度は里山の会結成30周年です。

祝賀記念式を2026年11月14日に開催いたします。みなさんご出席ください。

記念講演「東南海地震と私たちの暮らし」を元京都大学准教授 松波孝二様にお願いしています。